

「一変数テイラー展開」の合否判定基準

- テイラー展開の公式を間違っ理解しているものは、「否」。
- 微分の計算が、間違っており、しかも単なる計算間違いでなく、認識の誤りがあるものについては「否」。
- 最初の何項かの係数が間違っており、導関数の形が書かれていない等、答をどのように求めたのか不明なものは「否」。
- 0でない最初の3項の係数は正しいが、どのように求めたのか不明なものは「否」または「可」。
- テイラー展開の公式を正しく理解しており、答を求める過程も書いてあるが、ちょっとした計算間違いをしているものは「可」。
- 0でない最初の3項の係数は、答を求める過程を含めて正しく求まっているが、一般項が求まっていないものは「可」。
- テイラー展開の係数は正しく求まっているが、テイラー展開の公式に誤差項がついておらず、無限級数でもなくて、 $f(x)$ が多項式とイコールになってしまっているものは「可」。
- 一度正解に達したが、 $(x - a)^n$ の形を展開するなどして崩してしまったものは「可」。
- 「可」の答案に書かれた指示を一つでも無視して再提出した場合は「否」。